

○ 近畿産大豆の単収

大豆の単収は、播種時期や収穫時期の降雨による作業の遅れや、生育期間中の低温・日照不足など、天候の影響を受け易く、年次変動が大きい。

近畿産大豆の単収は、110kg/10a～140kg/10aと全国と比べ低位（全国比69%（10か年平均））で推移しているが、令和6年産の単収は秋の高温・寡雨の影響により66kg/10a（前年対比56%）となった。

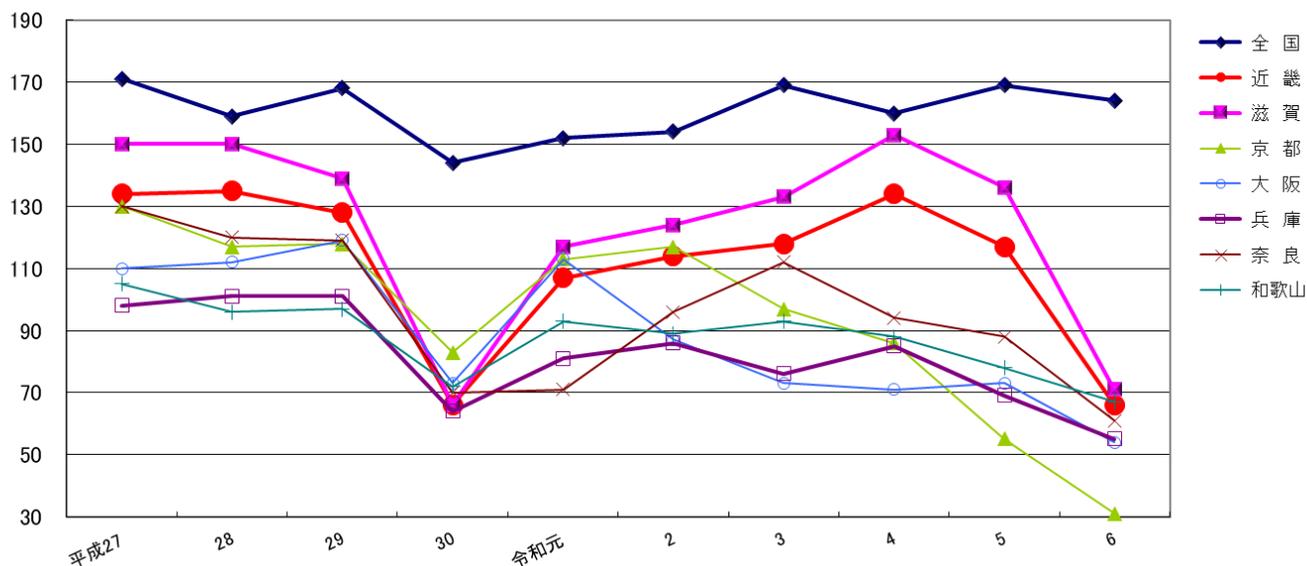
近畿は、黒大豆の占める割合が高く、全国と比較して単収が低い傾向にあることから、食料・農業・農村基本計画で掲げるKPI（令和12年：39万トン）の達成には、単収向上に向けた取組が大きな課題となっている。

近畿産大豆の単収の推移

(単位:kg/10a)

年産 府県	平成27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	10年平均
全国	171	159	168	144	152	154	169	160	169	164	161
近 畿	134	135	128	66	107	114	118	134	117	66	112
全国対比	78%	85%	76%	46%	70%	74%	70%	84%	69%	40%	69%
滋 賀	150	150	139	66	117	124	133	153	136	71	124
京 都	130	117	118	83	113	117	97	86	55	31	95
大 阪	110	112	119	73	113	87	73	71	73	54	89
兵 庫	98	101	101	64	81	86	76	85	69	55	82
奈 良	130	120	119	70	71	96	112	94	88	61	98
和歌山	105	96	97	72	93	89	93	88	78	67	89

資料：農林水産省「作物統計」



資料：農林水産省「作物統計」